

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【公表番号】特表2003-530409(P2003-530409A)

【公表日】平成15年10月14日(2003.10.14)

【出願番号】特願2001-575823(P2001-575823)

【国際特許分類】

A 0 1 N 43/08 (2006.01)
 A 0 1 N 37/28 (2006.01)
 A 0 1 N 43/16 (2006.01)
 A 0 1 N 43/22 (2006.01)
 A 0 1 N 43/28 (2006.01)
 A 0 1 N 43/56 (2006.01)
 A 0 1 N 43/68 (2006.01)
 A 0 1 N 43/88 (2006.01)
 A 0 1 N 47/34 (2006.01)
 A 6 1 K 31/166 (2006.01)
 A 6 1 K 31/17 (2006.01)
 A 6 1 K 31/353 (2006.01)
 A 6 1 K 31/357 (2006.01)
 A 6 1 K 31/365 (2006.01)
 A 6 1 K 31/39 (2006.01)
 A 6 1 K 31/415 (2006.01)
 A 6 1 K 31/44 (2006.01)
 A 6 1 K 31/53 (2006.01)
 A 6 1 K 31/5395 (2006.01)
 A 6 1 P 33/14 (2006.01)

【 F I 】

A 0 1 N 43/08 H
 A 0 1 N 37/28
 A 0 1 N 43/16 C
 A 0 1 N 43/22
 A 0 1 N 43/28
 A 0 1 N 43/56 D
 A 0 1 N 43/68
 A 0 1 N 43/88
 A 0 1 N 47/34 C
 A 6 1 K 31/166
 A 6 1 K 31/17
 A 6 1 K 31/353
 A 6 1 K 31/357
 A 6 1 K 31/365
 A 6 1 K 31/39
 A 6 1 K 31/415
 A 6 1 K 31/44
 A 6 1 K 31/53
 A 6 1 K 31/5395
 A 6 1 P 33/14

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月1日(2008.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

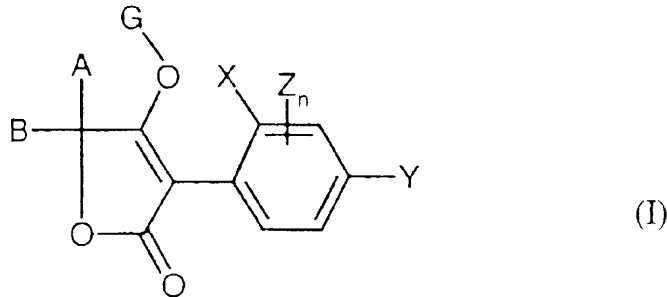
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)

【化1】



[式中、

Xは $C_1 - C_6$ -アルキル、ハロゲン、 $C_1 - C_6$ -アルコキシまたは $C_1 - C_3$ -ハロゲノアルキルを表し、

Yは水素、 $C_1 - C_6$ -アルキル、ハロゲン、 $C_1 - C_6$ -アルコキシまたは $C_1 - C_3$ -ハロゲノアルキルを表し、

Zは $C_1 - C_6$ -アルキル、ハロゲンまたは $C_1 - C_6$ -アルコキシを表し、

nは0～3の数を表し、

Aは水素或いは各場合とも場合によりハロゲン-置換されていてもよい直鎖状もしくは分枝鎖状の $C_1 - C_{12}$ -アルキル、 $C_3 - C_8$ -アルケニル、 $C_3 - C_8$ -アルキニル、 $C_1 - C_{10}$ -アルコキシ- $C_2 - C_8$ -アルキル、 $C_1 - C_8$ -ポリアルコキシ- $C_2 - C_8$ -アルキル、 $C_1 - C_{10}$ -アルキルチオ- $C_2 - C_8$ -アルキル、酸素および/もしくは硫黄により中断されていてもよい3～8個の環原子を有するシクロアルキルを表し、そして各場合とも場合によりハロゲン-、 $C_1 - C_6$ -アルキル-、 $C_1 - C_6$ -ハロゲノアルキル-、 $C_1 - C_6$ -アルコキシ-、 $C_1 - C_6$ -ハロゲノアルコキシ-、ニトロ-置換されていてもよいフェニルまたはフェニル- $C_1 - C_6$ -アルキルを表し、

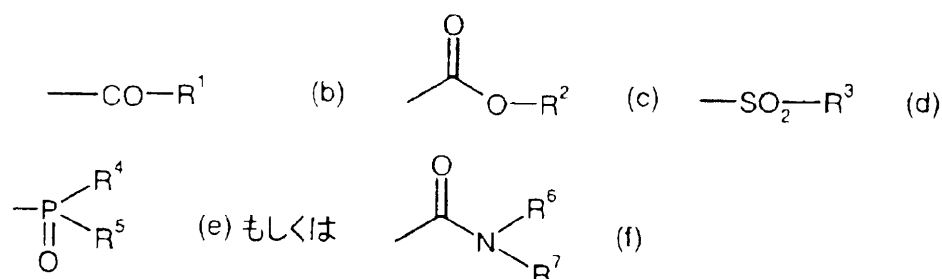
Bは水素、 $C_1 - C_6$ -アルキルまたは $C_1 - C_6$ -アルコキシ- $C_2 - C_4$ -アルキルを表すか、

或いは

AおよびBはそれらが結合している炭素原子と一緒に場合により酸素および/または硫黄により中断されていてもよく且つ場合によりハロゲン、 $C_1 - C_6$ -アルキル、 $C_1 - C_6$ -アルコキシ、 $C_1 - C_4$ -ハロゲノアルキル、 $C_1 - C_4$ -ハロゲノアルコキシ、 $C_1 - C_4$ -アルキルチオまたは場合により置換されていてもよいフェニルにより置換されていてもよくまたは場合によりベンゾ-縮合されていてもよい飽和もしくは不飽和の3～8-員環を形成し、

Gは水素(a)を表すかまたは基

【化2】



を表し、

ここで

R^1 は各場合とも場合によりハロゲン - 置換されていてもよい $C_1 - C_{20}$ - アルキル、 $C_2 - C_{20}$ - アルケニル、 $C_1 - C_8$ - アルコキシ - $C_2 - C_8$ - アルキル、 $C_1 - C_8$ - アルキルチオ - $C_2 - C_8$ - アルキル、 $C_1 - C_8$ - ポリアルコキシ - $C_2 - C_8$ - アルキルまたは酸素および/もしくは硫黄原子により中断されていてもよい 3 ~ 8 個の環原子を有するシクロアルキルを表し、

場合によりハロゲン - 、ニトロ - 、 $C_1 - C_6$ - アルキル - 、 $C_1 - C_6$ - アルコキシ - 、 $C_1 - C_6$ - ハロゲノアルキル - または $C_1 - C_6$ - ハロゲノアルコキシ - 置換されていてもよいフェニルを表し、

場合によりハロゲン - 、 $C_1 - C_6$ - アルキル - 、 $C_1 - C_6$ - アルコキシ - 、 $C_1 - C_6$ - ハロゲノアルキル - または $C_1 - C_6$ - ハロゲノアルコキシ - 置換されていてもよいフェニル - $C_1 - C_6$ - アルキルを表し、

各場合とも場合によりハロゲン - および/もしくは $C_1 - C_6$ - アルキル - 置換されていてもよいピリジル、ピリミジル、チアゾリルまたはピラゾリルを表し、

場合によりハロゲン - および/または $C_1 - C_6$ - アルキル - 置換されていてもよいフェノキシ - $C_1 - C_6$ - アルキルを表し、

R^2 は各場合とも場合によりハロゲン - 置換されていてもよい $C_1 - C_{20}$ - アルキル、 $C_2 - C_{20}$ - アルケニル、 $C_1 - C_8$ - アルコキシ - $C_2 - C_8$ - アルキルまたは $C_1 - C_8$ - ポリアルコキシ - $C_2 - C_8$ - アルキルを表し、

各場合とも場合によりハロゲン - 、ニトロ - 、 $C_1 - C_6$ - アルキル - 、 $C_1 - C_6$ - アルコキシ - もしくは $C_1 - C_6$ - ハロゲノアルキル - 置換されていてもよいフェニルまたはベンジルを表し、

R^3 は場合によりハロゲン - 置換されていてもよい $C_1 - C_8$ - アルキルを表し、各場合とも場合により $C_1 - C_4$ - アルキル - 、ハロゲン - 、 $C_1 - C_4$ - ハロゲノアルキル - 、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ - 、 $C_1 - C_4$ - ハロゲノアルコキシ - 、ニトロ - もしくはシアノ - 置換されていてもよいフェニルまたはベンジルを表し、

R^4 および R^5 は互いに独立して各場合とも場合によりハロゲン - 置換されていてもよい $C_1 - C_8$ - アルキル、 $C_1 - C_8$ - アルコキシ、 $C_1 - C_8$ - アルキルアミノ、ジ - ($C_1 - C_8$) - アルキルアミノ、 $C_1 - C_8$ - アルキルチオ、 $C_2 - C_5$ - アルケニルチオ、 $C_2 - C_5$ - アルキニルチオまたは $C_3 - C_7$ - シクロアルキルチオを表し、各場合とも場合によりハロゲン - 、ニトロ - 、シアノ - 、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ - 、 $C_1 - C_4$ - ハロゲノアルコキシ - 、 $C_1 - C_4$ - アルキルチオ - 、 $C_1 - C_4$ - ハロゲノアルキルチオ - 、 $C_1 - C_4$ - アルキル - もしくは $C_1 - C_4$ - ハロゲノアルキル - 置換されていてもよいフェニル、フェノキシまたはフェニルチオを表し、

R^6 および R^7 は互いに独立して各場合とも場合によりハロゲン - 置換されていてもよい $C_1 - C_{10}$ - アルキル、 $C_1 - C_{10}$ - アルコキシ、 $C_3 - C_8$ - アルケニルまたは $C_1 - C_8$ - アルコキシ - $C_1 - C_8$ - アルキルを表し、場合によりハロゲン - 、 $C_1 - C_6$ - ハロゲノアルキル - 、 $C_1 - C_6$ - アルキル - もしくは $C_1 - C_6$ - アルコキシ - 置換されていてもよいフェニルを表し、場合によりハロゲン - 、 $C_1 - C_6$ - アルキル - 、 $C_1 - C_6$ - ハロゲノアルキル - もしくは $C_1 - C_6$ - アルコキシ - 置換されていてもよいベンジルを表し、或いは一緒になって場合により酸素または硫黄により中断されていてもよく且つ場合により $C_1 -$

C₆ - アルキルにより置換されていてもよい 5 - もしくは 6 - 員環を表す]
 の化合物、
 並びに少なくとも 1 種の下記の化合物
 クロルフルアズロン(chlorfluazuron)、
 ジフルベンズロン(diflubenzuron)、
 ルフェヌロン(lufenuron)、
 テフルベンズロン(teflubenzuron)、
 トリフルムロン(triflumuron)、
 ノバルロン(novaluron)、
 フルフェノクスロン(flufenoxuron)、
 ヘキサフルムロン(hexaflumuron)、
 エマメクチン(emamectin)、
 メトキシフェノジド(methoxyfenozide)、
 テブフェノジド(tebufenozide)、
 ハロフェノジド(halofenozide)、
 エンドスルファン(endosulfan)、
 トリコグラマ spp. (Trichogramma spp.)、
 ベルチシリウム・レカニイ(Verticillium lecanii)、
 フィプロニル(fipronil)、
 シロマジン(cyromazine)、
 アザジラクチン(azadirachtin)、
 ジオフェノラン(diofenolan)、
 インドキサカルブ(indoxacarb)、
 クロマフェノジド(chromafenozide)、
 ビストリフルオロン(bistrifluoron)
 の混合物を含んでなる組成物。

【請求項 2】

X が C₁ - C₄ - アルキル、ハロゲン、C₁ - C₄ - アルコキシまたは C₁ - C₂ - ハロゲノアルキルを表し、
 Y が水素、C₁ - C₄ - アルキル、ハロゲン、C₁ - C₄ - アルコキシまたは C₁ - C₂ - ハロゲノアルキルを表し、
 Z が C₁ - C₄ - アルキル、ハロゲンまたは C₁ - C₄ - アルコキシを表し、
 n が 0 または 1 を表し、
 A および B がそれらが結合している炭素原子と一緒に場合により C₁ - C₄ - アルキルまたは C₁ - C₄ - アルコキシにより置換されていてもよい飽和の 5 - もしくは 6 - 員環を形成し、
 G が水素 (a) を表すかまたは基
 【化 3】



を表し、
 ここで

R¹ が各場合とも場合によりハロゲン - 置換されていてもよい C₁ - C₁₆ - アルキル、C₂ - C₁₆ - アルケニル、C₁ - C₆ - アルコキシ - C₂ - C₆ - アルキル、または 1 もしくは 2 個の酸素および / もしくは硫黄原子により中断されていてもよい 3 ~ 7 個の環原子を有するシクロアルキルを表し、
 場合によりハロゲン - 、ニトロ - 、C₁ - C₄ - アルキル - 、C₁ - C₄ - アルコキシ - 、C

$C_1 - C_3$ - ハロゲンアルキル - 、 $C_1 - C_3$ - ハロゲンアルコキシ - 置換されていてもよいフェニルを表し、

R^2 が各場合とも場合によりハロゲン - 置換されていてもよい $C_1 - C_{16}$ - アルキル、 $C_2 - C_{16}$ - アルケニルまたは $C_1 - C_6$ - アルコキシ - $C_2 - C_6$ - アルキルを表し、

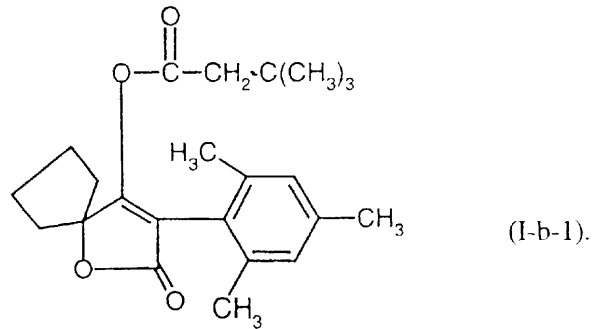
各場合とも場合によりハロゲン - 、 ニトロ - 、 $C_1 - C_4$ - アルキル - 、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ - もしくは $C_1 - C_4$ - ハロゲンアルキル - 置換されていてもよいフェニルまたはベンジルを表す、

式 (I) の化合物を含んでなる請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

式 (I - b - 1)

【化 4】



の化合物を含んでなる請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

請求項 1、 2 または 3 のいずれかで定義されている混合物を動物性有害生物および / またはそれらの生息地に作用させることを特徴とする動物性有害生物の抑制方法。